

平成29年度市政懇談会 開催結果概要

- 日時 平成29年7月6日（木）午後6時～
- 会場 阿寒町公民館
- 出席者 20人

〔市長より説明（別途資料参照）〕

○将来を見通したまちづくり

- ・ 釧路市の台所事情
- ・ 釧路市の人口推移
- ・ 雇用を生み出す産業の強化
- ・ 子どもを生み育てたいという希望をかなえる
- ・ 「世界一級の観光地」を目指して
- ・ 阿寒湖アイヌ施策の推進
- ・ 安心な暮らしをつくる
- ・ 人口減少に対応した地域をつくる
- ・ 釧路市まちづくり基本構想等の策定について

●意見交換

【阿寒町行政センター長】

旧総合福祉センター跡地の活用についてです。ホームックニコットさんの建設工事が先日から始まりました。順調にいきますと10月末オープンとなります。買い物困難者を阿寒から出すことを未然に防ぎたいということと、これを起爆として、地域の活性化と賑わいの創出という観点で、地域や議会で議論いただき、跡地の有効活用についていただいたご意見を踏まえ、この度、ホームックニコットさんと契約を結んだところです。その際、生鮮食料品を扱うという条件でお話しをさせていただいたのですが、ホームックニコットさんからの提案の内容は、生鮮食料品を含める食料品や日用雑貨について、私どもが当初見込んでいた以上のご提案をいただいたところです。土地は市からの賃貸となり、スポーツセンターを背中にして、セブンイレブンさん側に正面を構える形になります。敷地としては、全体の5分の1ぐらいが営業スペース、残りのスペースは駐車場になります。この駐車場については阿寒ふるさとまつりなどのイベントにどんどん活用してくださいというお話しをいただいています。また、商工会にも加盟されるというお話しも聞いており、いろいろな連携をとっていききたいということです。阿寒町本町地区の賑わいに、いろんな形で結びつくのかなと思っています。是非、皆さんもご利用いただき、地元根付いていくような展開できればと思っています。

【市長】

日本大学サッカー一部が8月上旬に阿寒に合宿で来ることになり、大変良かつ

たなと思っています。阿寒町総合運動公園のトイレも改修したところで、芝のサッカー場がある阿寒で、サッカーの合宿が行われることとなります。芝のサッカー場は気候の関係で難しいものがありますが、これが阿寒にあり、また、合宿をベースにいろいろと周りとの連携をとりながら、地域の活性化にもつながると思っています。

釧路地域では、亜細亜大学の硬式野球部に毎年来ていただきます。今年、市民球場が人口芝に変わり、7月25日には8年ぶりに日本ハム対ロッテの公式戦も開催されます。チケットはすぐ完売するほどで、夏休みに入った子どもたちも楽しみにしていることだと思います。その前の22日に、中学校3年生等は卒業の年で今年もう試合がないことから、その子どもたちの選抜チームの試合を最初にして、そして、25日の日本ハムの試合となります。8月には亜細亜大学の硬式野球部が来ます。この亜細亜大学は東都大学野球リーグの強いチームですから、社会人チームのトヨタ自動車も亜細亜大学と試合をするために来るなど、多くの方が釧路に入ってくる形になっています。同じようにこの阿寒も、日本大学のサッカー部が来ることによって、さらなる展開等が期待できるかと思っています。

亜細亜大学の硬式野球部が来た当時、駅北側のホテルに泊まっていて、野球場までランニングして行っていました。そうすると市民の方から私に苦情がきました。合宿に釧路まで来ているのに何でバスの1台も貸してやらないのかと。僕も、そうかと思って聞きましたら、バスを用意していたけど、釧路が涼しいので球場まで選手全員、朝と晩にランニングで行くことになったということでした。そのぐらい市民の方々が、この合宿を気に掛けてくれているということで、亜細亜大学の選手や監督も、釧路は受け入れ体制が非常に良いですねと言ってくれています。是非そういった形で迎えてくれればありがたいなと思います。特別なことはしなくて良いのです。普通に迎え入れていただければ、選手の皆さんは非常に素晴らしい気候の中で、良い合宿ができるのではないかと思いますので、よろしくお願いします。

【参加者A】

昨日、地域協議会でも話したのですが、公民館の焼き釜が壊れているようで、会の方に聞きましたら作った物が溜まっていて、素焼きをするためにまなぼつと幣舞に持って行こうかと考えているそうです。運搬の時に壊れる可能性もあるし、素焼きの後、本焼きをしなければならず、すごく切実に考えているみたいです。

【阿寒生涯学習課長】

公民館の釜は1960年の製造で、56～57年経っており、かなり古い物です。使用団体の皆様には、丁寧に使っていただいております、ただ、去年の12月に突然故障して、現在も使用できない状況です。安い物だと100万円程度、高い物だと200～300万円するという高価な物ですから、簡単につけられない状況もありますが、今後とも、努力してまいりたいと思います。

作った物で溜まっている物に関しましては、まなぼっと幣舞に協力いただいて、対応しようと考えています。

【阿寒町行政センター長】

去年から予算についていろいろ議論があり、今年の補正予算でもどうかという議論を生涯学習課としているところです。財源を探しながらという状況なので、今すぐは無理ですよ、というお話しをさせていただきました。

【市長】

予算の仕組みってということがございまして、予算というのは基本的に1件採択という形になります。議会に1年間にどういったものに使うかというものを出して、それで議会で採択いただきます。もちろん修理費はありますけど、俗に言うつかみみたいな枠予算はあまり無いです。一つ一つ、どういったことに使うと出しながら進めており、壊れて修理する場合、予算の中であれば対応できるのですが、根本的に新しく買い換えなくてはならない状況になると、どうしても予算編成というような形になってくるので、ちょっと時間がかかってしまいます。今、補正予算も視野に入れてという話でありますから、しっかり相談しながら進めていきたい。おっしゃるとおり、今までやってきた活動ができないと辛いと思います。釜はコア3館とまなぼっと幣舞にあって、作品をいろいろなイベントの時に販売しながら、今年の出来映えの話をしているのをよく見かけます。クレインズテラスの横でも販売していて、私もいくつか購入したことがあります。そういった活動が無くならないようにしていくことが重要だと考えており、活動が停滞しないよう、しっかり相談していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

【参加者B】

赤いベレーについてお聞きします。高速道路の開通や、道の駅施設の完成に伴って、前よりも車や人が増えていると感じています。バスの停留所を中に作ってもらったことも非常に良い効果が出ているのではないかと考えています。人数や業績は、どういう傾向になっているのでしょうか。

【市長】

人も増えているけれど、人が増えている以上に売り上げも上がってしまっていて、非常に成果が出ているところです。

【阿寒町行政センター長】

阿寒インターチェンジの開通という出来事がなかったら伸びていないというのは事実です。阿寒インターチェンジができて人が来るのは、自然増だと思っています。阿寒インターチェンジができる前年と比べ、完成した年の入込数は2倍くらいになっています。つまりインターチェンジの開通で2倍です。クレインズテラスは昨年11月にできたので、前年対比はできないのですが、今年のゴールデンウィークの状況をお話しさせていただきます。今年のゴールデンウィークは曜日の並びが良かったこともあり、特に多かったのが5月3日から5日までで、1日に約4,000人、3日間で約13,000人となり、前

年のゴールデンウィークと比べて3.7倍くらいになりました。売り上げは入込数以上に増えています。効果は間違いなく出ていると思います。今年はお盆時期のほか、来週や次の三連休もイベントをやります。そういった中で夏休みの期間を見込むと、さらに入り込みは増えていくだろうと思っています。阿寒本町地区の活性化につなげるためにも、まず道の駅を元気し、道の駅に来てくれたお客さんを、阿寒湖畔や釧路市街に行ってもらおうという拠点型を目指していますので、その役割も徐々に果たしているのかなって気がしています。また、阿寒バスさんにご理解いただきまして、路線バスが敷地内に停留所を移動してくれたことにより、訪日外国人旅行者の方も含めて、個人旅行者が、大きなスーツケースを持って道の駅で降り、荷物を赤いベレーに預けて、ツルセンターや野営場など、近辺をまわるといふ新しい形態もできています。今年4月1日からは空港から阿寒湖温泉へのバスの直通便もでき、それも道の駅に停まっただけのことになり、バスを活用した旅行者もますます増えてくるのかなという気がしています。今後とも、阿寒の食と自然、それとコミュニティの良さ、そういったことを活用していきながら、道の駅が発展していくことが釧路市全体、特に阿寒湖温泉と釧路市街の全体の観光客の入込みにもつながると思っていますので、これからも頑張りたいと考えています。

【参加者C】

高速道路を利用して札幌から帰ってくる時、阿寒湖に行く矢印が足寄の方を指しています。その後、こっちに来て、この先赤いベレーがありますよというサインが道中に見当たりません。白糠にはインターチェンジを降りて白糠のいろんな産物も書いてあるサインがあります。阿寒インターチェンジで降りても赤いベレーに行かないで、真っすぐ釧路に行く人がいるので、足寄に行く手前に、真っすぐ行っても阿寒湖に行けますよとか、その途中には赤いベレーもありますよというサインが必要なのではと感じています。

【市長】

距離が近い方を表示するのがルールになっており、阿寒湖へは足寄からの方が近いことから、そのようになっています。そこを踏まえて、集客などをどのように進めていくかということになります。

【阿寒町行政センター長】

阿寒湖へ行く場合、だいたい15分違います。足寄町にも道の駅や、おいしい昼食を取る所もあるので、そこも活用していただきながらと思っています。高速道路が阿寒までつながったことにより、千歳空港を朝一便で降りて、レンタカーやバスを使うと、道の駅へお昼までに来られるようになりました。先だっけのANAの営業の方々が各地から来た時も、そういったPRなど、いろいろお話しをさせていただきました。走りやすさからも阿寒インターチェンジを降りて240号線を行った方が運転しやすいですよとか、阿寒丹頂の里にはこういう魅力がありますよというPRを重ねており、クレインズテラスができた当初に比べると、2倍3倍の方が阿寒インターチェンジを通過して阿寒丹頂の里、

また湖畔の方に行っているという感覚は持っていますし、アンケートを取る中でもそのようなお話しを聞いています。また、阿寒インターチェンジに降りる坂のところに1カ所と、その坂の真ん中辺りに1カ所、そしてインターチェンジを降りた突き当たりに「阿寒丹頂の里 左 7km」と3つのサインがあります。これについてもゴールデンウィークにいろいろなお客さんにお話しを聞くと、釧路に直行しようと思ったけど道の駅まで7kmなので行ってみようかと寄ってくれて、買い物をしてくれたあと、釧路の目的地に行ったというお客さんがたくさんいました。そういった話を聞くと、あのサインも効果があると考えています。さらに、旅行代理店やバス会社などに働きかけて空港から湖畔に行く直行便バスや、阿寒湖温泉のホテルにお願いしてホテル所有の個別のバスも阿寒丹頂の里に停まっていただけになりました。いろいろな形で、阿寒丹頂の里のPRを重ねていくことによって、また利用していただけるお客さんが増えていくものと考えています。

【参加者B】

阿寒病院が診療所になって、運営の状況はどうですか。また、循環器科の先生は札幌からわざわざ来ていただいて大変助かっており、これを継続していただけるよう、お願いしたいと思います。

【阿寒町行政センター長】

病院から診療所という制度的な変更をし、病床数は19床あります。今現在入院病棟も約8割、15～16床の入院患者がおります。外来も1日60～70人くらいおり、運営面では全く問題ありません。経営の健全化を図る新改革プランを作り、病院から診療所に変更しましたが、経営的にも今のところ順調です。市の一般会計から阿寒診療所に繰り入れる一般財源は当初計画より半減しています。所長や高橋先生を補完する形で、今後も札幌医科大学ともいろいろと連携をとりながら、継続して来ていただけるようにしていきます。今、利用されている方に不便をかけないような診療所運営をしていきたいと考えています。

【参加者B】

医者で苦慮している町村が多く、医者がころころ変わるという状態です。そのような中、我々阿寒町の住民は中村先生や高橋先生方に継続してやってもらえることはありがたいと思っています。今後もぜひ継続をお願いします。

【市長】

お医者さんの確保が重要なこととなってきます。釧路管内、釧路市も含めてお医者さんが不足している状況です。中村所長、高橋先生には、地域医療の機能を守っていただいております。私も本当に感謝しているところです。医療というのは地域になくてはならないものです。以前は生活環境の基礎を衣食住と言っていたけど、今は医療の医に変えて医食住というのが、これから最も重要と考えています。医療環境を守り、安心な食料と、安心な住環境を基礎としていくと考え方です。この阿寒の地域における医療環境をしっかりと守るために、い

ろいろなことを行いながら進めていきます。

【参加者D】

釧路日専連さんの広報誌に「日専連カードは病院でも使えます」として、市立釧路総合病院をはじめ市内の病院が載っています。ただ、同じ市立でありながら、この阿寒診療所の名前が載っていません。日専連のカードはあらゆるクレジットカードでの支払いが可能となっており、阿寒診療所でもクレジットカードによる支払いをできるようにお願いしたい。

【阿寒町行政センター長】

釧路市立総合病院や他の医療機関が使える中、同様のご要望は、他からもたくさん聞いております。機械の投資代等のことがあります。どのような形をとったら可能になるのか、しっかり相談させていただきたいと思います。

【市長】

これからはキャッシュレス化ということが重要になってくると思います。政府の国立公園満喫プロジェクト委員でありますイギリスのアトキンソンさんが来たときに質問しました。釧路はカードが使えないお店が多く、どう思いますかと聞くと、一言、論外だと言われました。例えばどこかに行ったときに、現金をどのくらい持って街を歩くかということで、実は1万円持っていたけど、1万5千円の物がほしいと思ったときに、まさか現金を取りにホテルに戻ってとはなくて、大抵はカードが使えないなら諦めることになります。こうやって商売のチャンスを逃してしまうのです。私が市長に就任したとき、フィッシャーマンズワープMOOでも20%くらいのお店しかカードが使えなかったのが、ようやく今は60%くらいまでになりました。こういったキャッシュレス化を進めていくことが必要になってくると思っています。病院においても観光客が安心して診察を受けられることが大切で、特に外国の観光客の方々には、翻訳して伝えられるような仕組みを市立病院等でやっており、クレジットカードを使えるようにキャッシュレス化を進めていくことも、大きな時代の流れだと考えています。そういった意味合いからもしっかり相談していきたいと考えています。

【参加者D】

ここの公民館の中にある図書室が午後5時で閉まります。新しく図書館が北大通にできますけれども、同じ市立で運営しているのであれば、公民館の図書室も同様の午後7時くらいまでできないでしょうか。

【阿寒生涯学習課長】

過去に一度、延ばしたことはありましたが、お客様がなかなかいらっしやらなかったということで、戻したという経過がございます。今後、そのような要望や現状を見まして、考えていきたいと思いますが、現状ではお客様が来ないことから、現在の閉館時間となっておりますのでご理解いただきたいと思っています。

【市長】

同じ市の施設でということですが、私どもで行っているいろんなものは全て税金、皆さんから預かっているお金の中で行っています。さまざまなことで全てコストがかかってくるもので、実態に合わせたさまざまな対応が必要になってくると思っています。時間を長くすると、そこに雇用が生まれると言っても、その経費は税金で対応するということになります。朝早くから、または遅くまでやっていた方が便利だというのは分かります。でも、そこにかかるコストや利用実態を踏まえた中で、皆様からの税金を大切に使うという観点で進めているものです。必要性に合わせて、皆様方の税金をいろいろなところに使っていくといった考え方でおりますので、よろしく申し上げます。